

秘密

女騎士の





とある国の  
美しき女騎士  
『レティア』

まだ若く  
女性とは思えない  
剣さばきと身のこなしで  
一人でオークにも勝つ傑物



特に愛馬である  
ユニコーンの『ランス』に  
乗馬としたときの強さは格別で  
いまだ戦では負けなしだった

ガ  
ル  
ル

フ  
ン  
フ  
ン

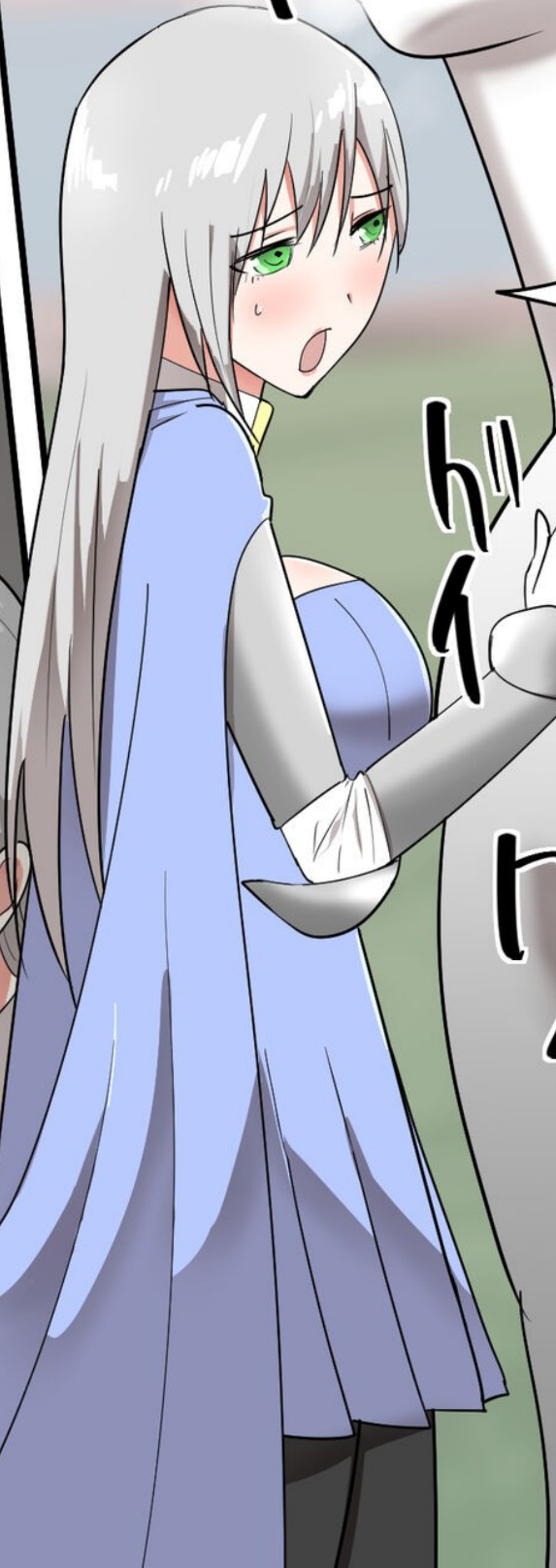
今回の戦も  
うまくいったな  
ランス!

!!  
ラ…ランス?

ベ  
ろ  
お  
ベ  
ろ  
お



……  
 わかった  
 人のいないところに  
 行くぞ……



戦が一段落した  
 とは言え  
 今はまだ作戦中だぞ！

レティアには  
秘密があった

しようがないか…  
ユニコーンの力を  
得るためだ…

サ  
ス

サ  
ス

うっ…

何度見ても  
おぞましい  
大きさだ…

ク  
ル  
ル

ク  
ル  
ル

彼女は  
ユニコーンのランスに  
性的奉仕をし  
見返りに  
『力』を得ていた

聖獣のくせに  
人間の女相手に  
勃起させるとは…  
ああ  
ああ  
耐え難いほどの  
強烈な獣臭

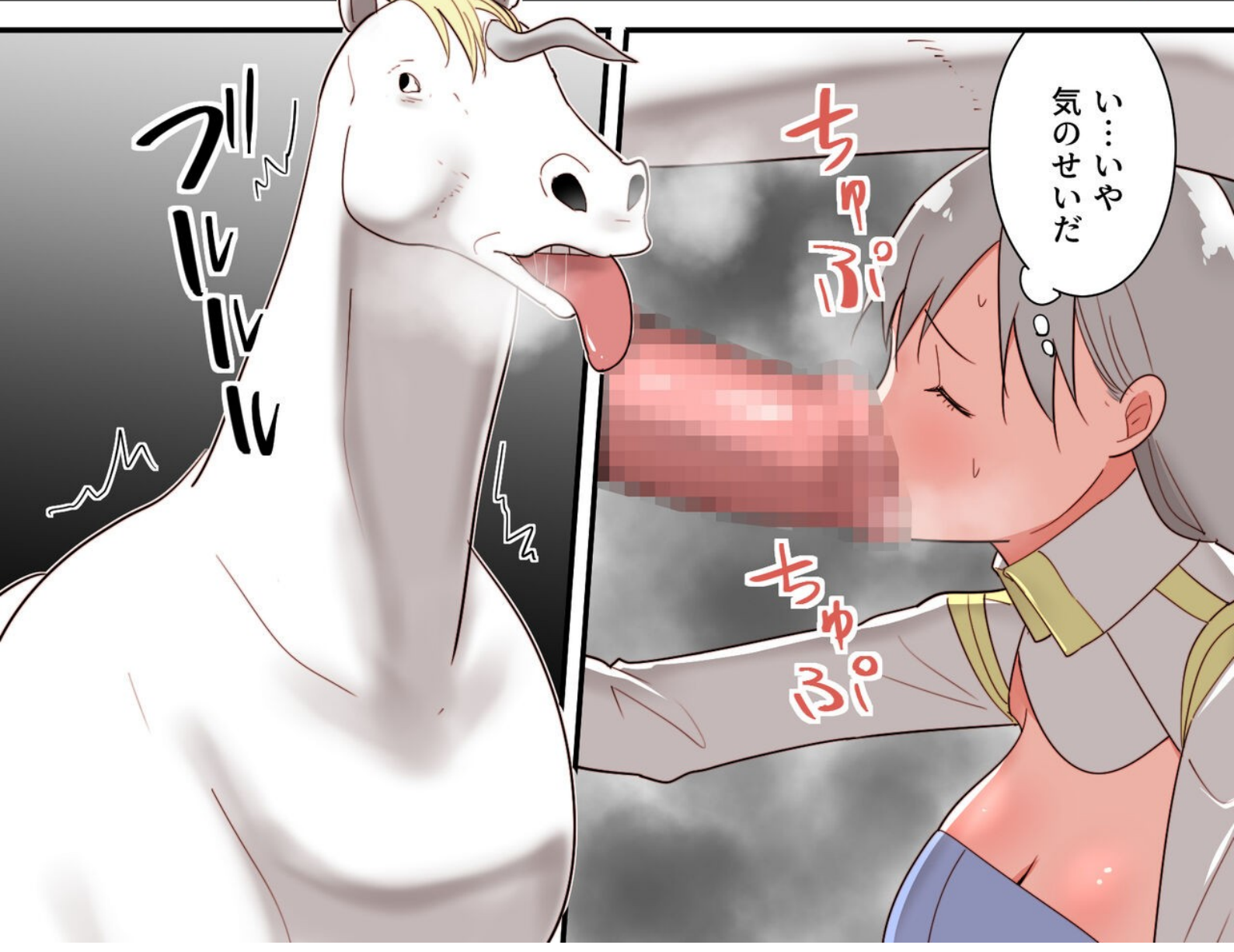
はあ…

グ  
グ  
グ

美しさ以外平庸な  
女性であるレティアが  
騎士団で結果を出すには  
ユニコーンと禁断の契約を  
結ぶ他無かったのだ



しかし  
この匂いが  
日に日に堪らなく  
癖になっていくような...

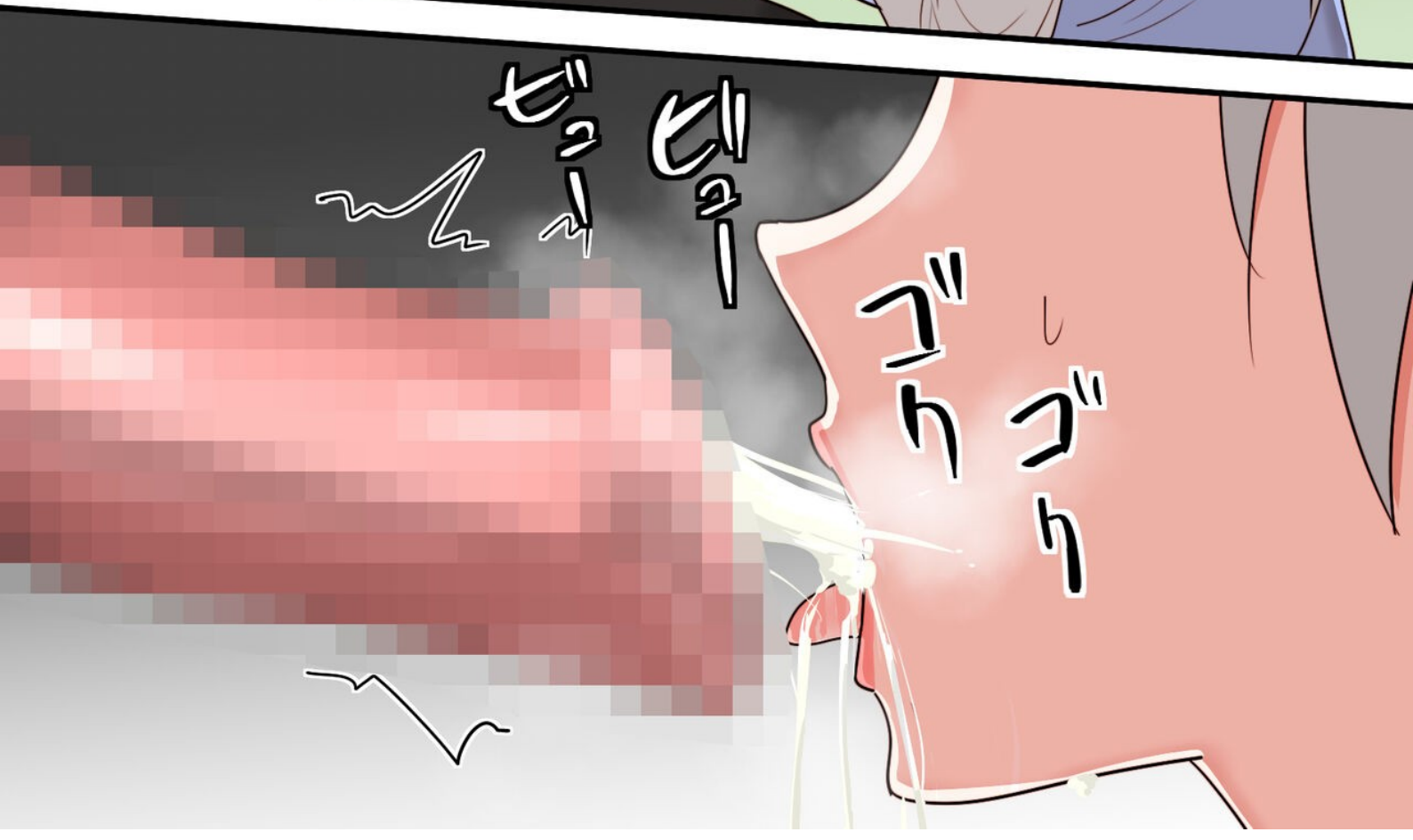
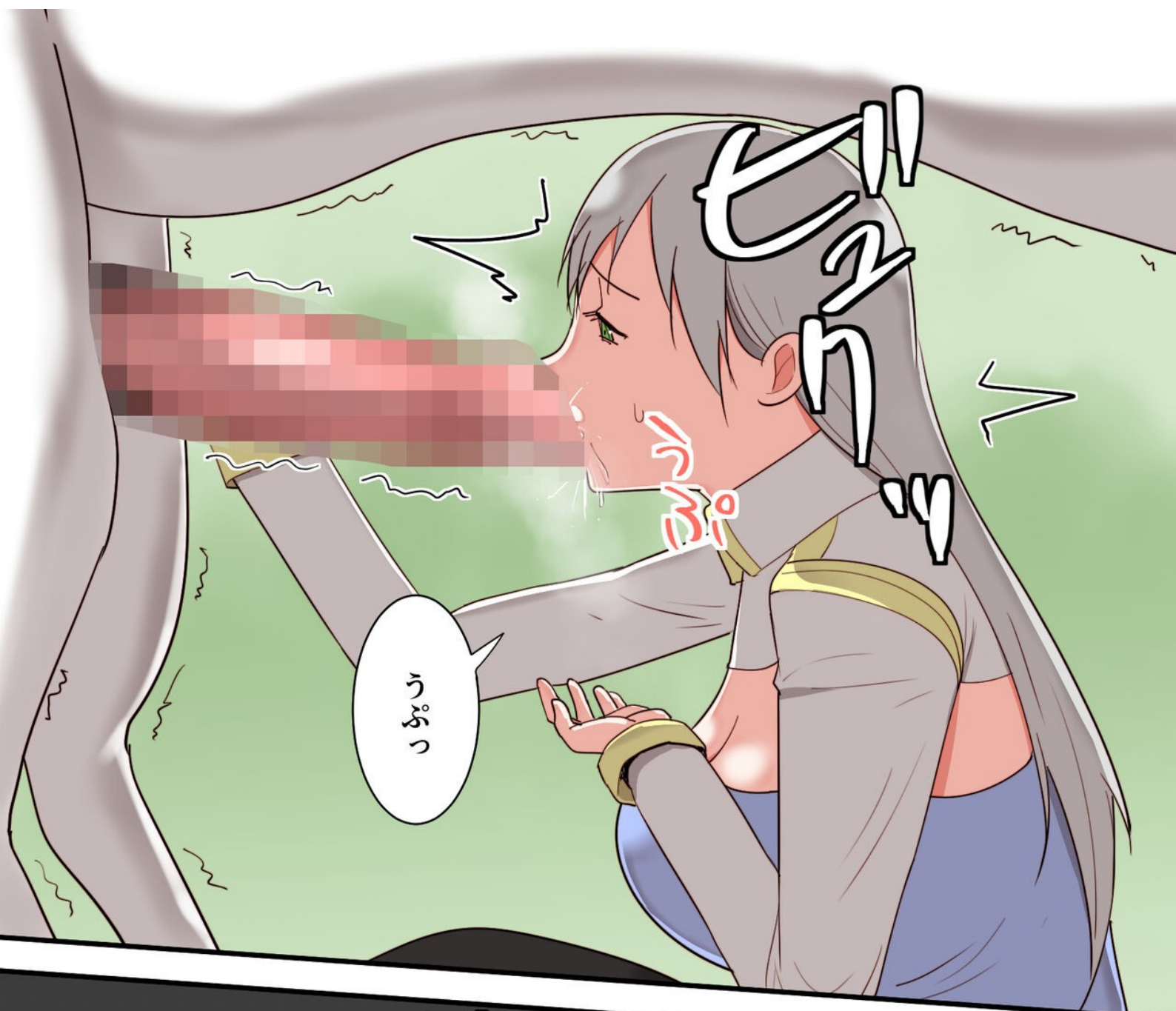


グ  
ル  
ル  
ル

ちゅ  
ぽ  
ぽ

ちゅ  
ぽ  
ぽ

い...いや  
気のせいだ





終わったぞ  
ランス：  
ちゃんと  
精子も飲んだぞ

ビビ  
ビビ

はは  
はあ



ど…どうした？  
すつきり  
しただろ？

…  
まだ  
やりたいのか？

スリ  
スリ



今日はもう終わりにしないか？  
ここは野外だし  
『これ以上先』はやりたくない…

!?

ガクガク

体から力が…  
抜けていく!?



待ってくれランス！  
私から力を奪わないでくれ…

くっ  
しょうがない…



ああ…

パッ

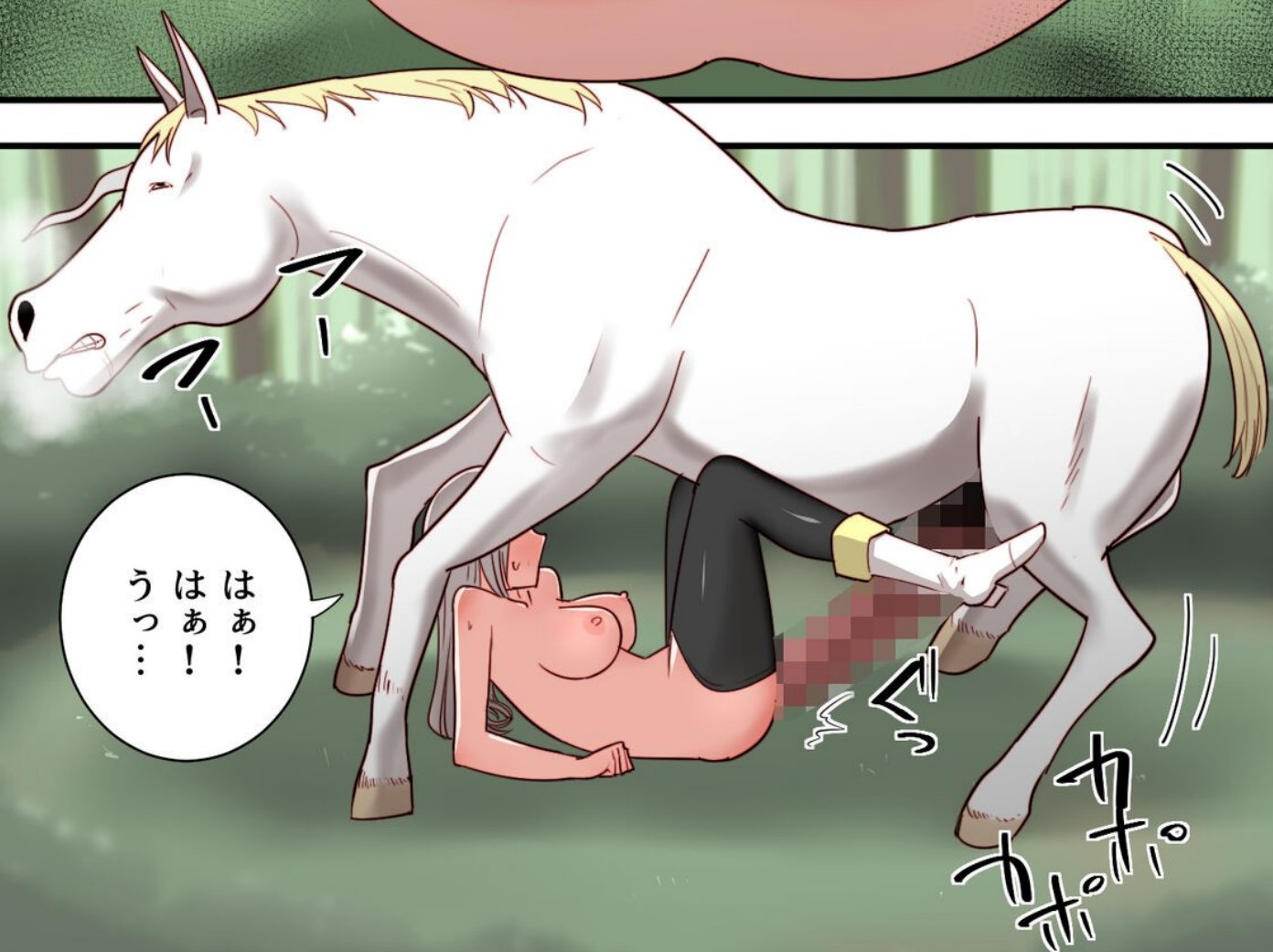
フリ

むち。

アッ

ほら  
いつも通り  
お尻の穴を  
好きにしろ…

何度も何度も馬並みの  
巨根を受け入れてきた  
レティアの肛門は  
常に開ききった形に  
なっていた



はあ！  
はあ！  
うっ…



あッ

んんんん!  
腸が  
こじ開けられていくっ...!

ゲッ  
ゲッ  
ゲッ

ゲッ  
ゲッ  
ゲッ

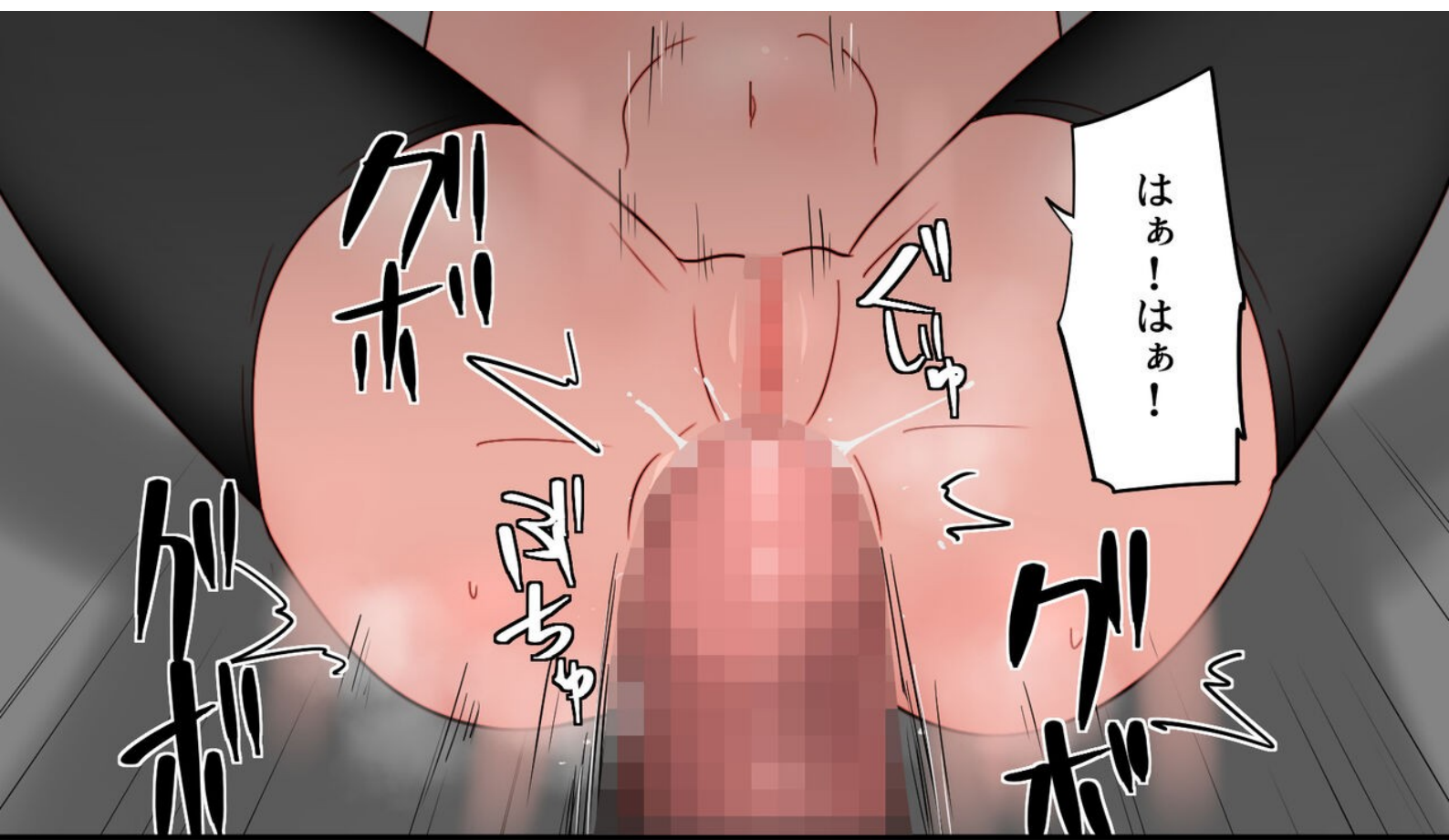
ガッ  
ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ  
ガッ

あああ!

ガッ  
ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ  
ガッ

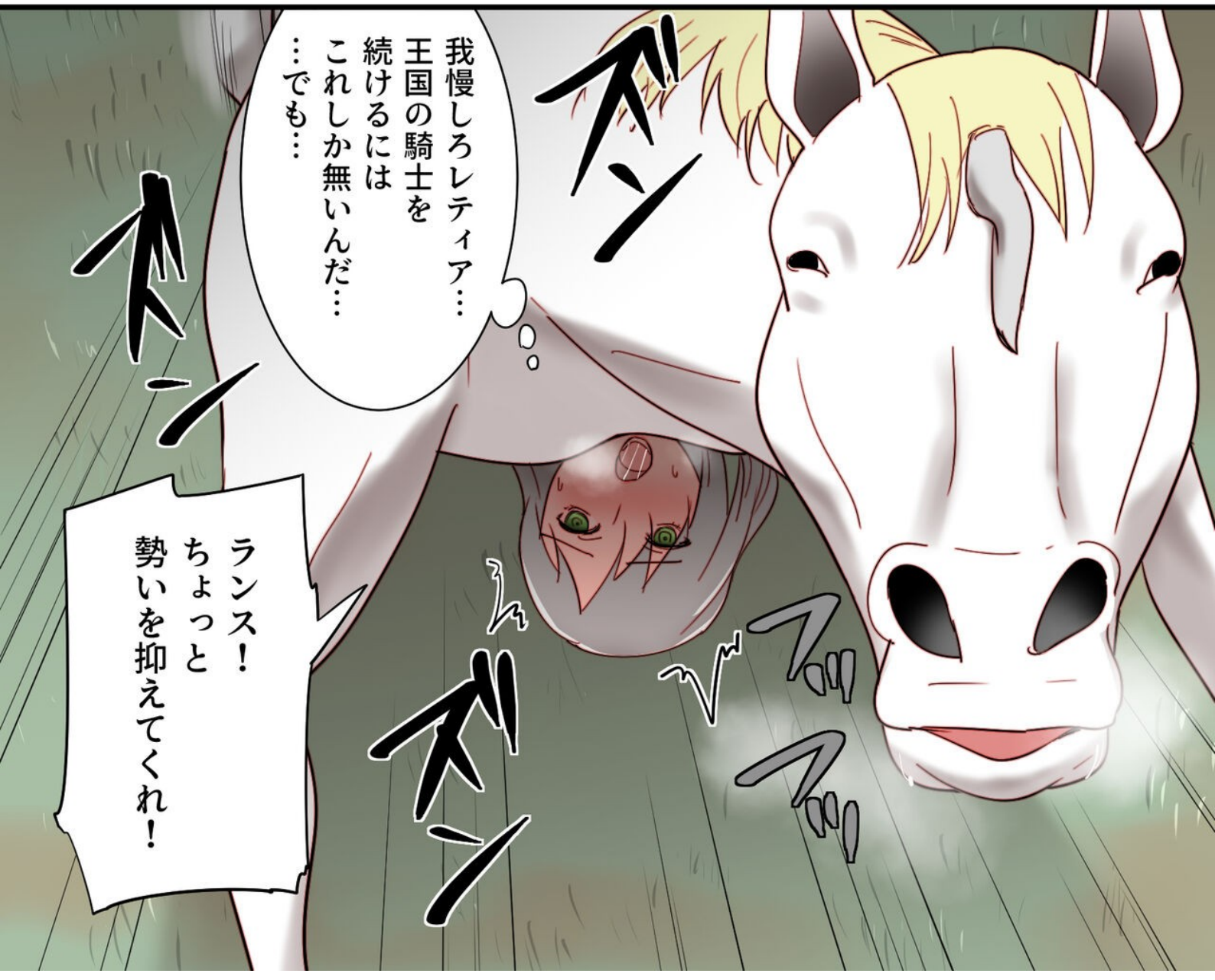


はあ！はあ！

ガッ  
ホッ

ガッ  
ホッ

ガッ  
ホッ



我慢しろレティア…  
王国の騎士を  
続けるには  
これしか無いんだ…  
…でも…

ランス！  
ちよつと  
勢いを抑えてくれ！

ズン

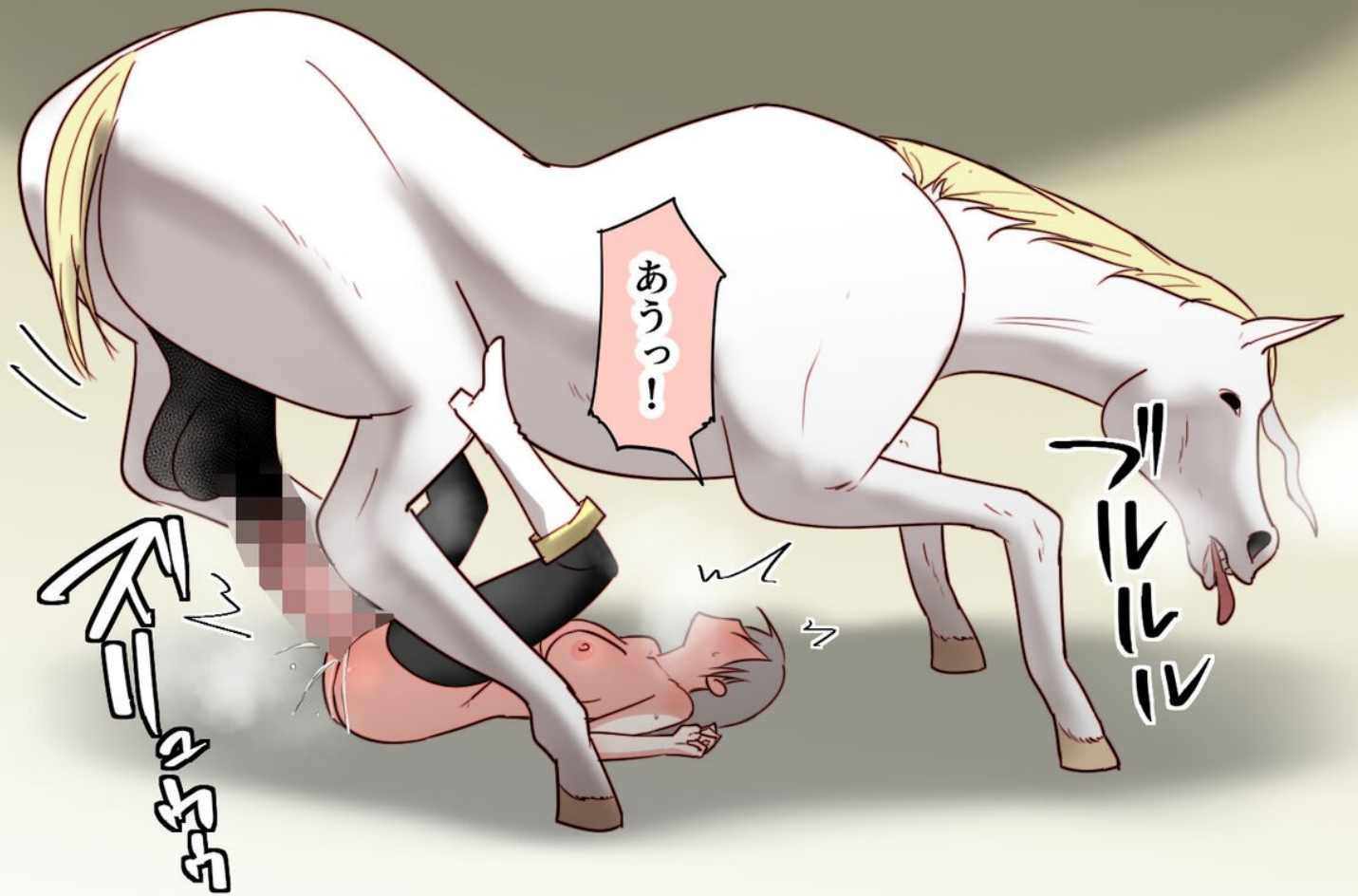
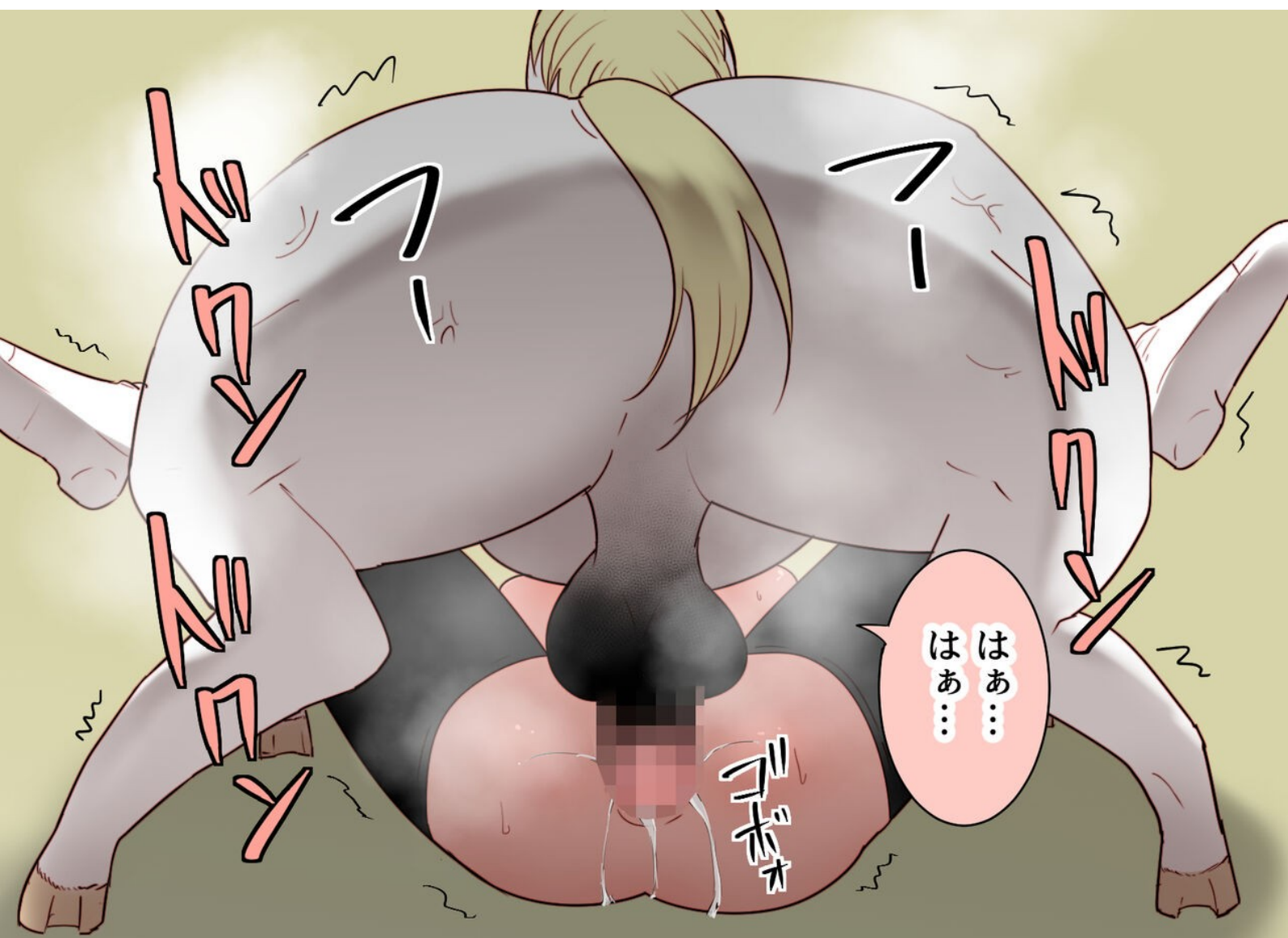
ズン

ズン

ズン









あふっ!!

ぽん

びん

また  
お尻広がっちゃったかも…

はあはあ…

お



レティア隊長！  
どこに行ってたんですか？  
探しましたよ

あ…ああ  
偵察に行ってたんだ  
報告してなくて  
すまなかった



最近ランスが私を求めてくる回数が増えている

脅せば私が言う事を聞くというのを覚え味をしめたのだろう

時も場所も選ばず内容もどんどん過激になっていき私の体は常にユニコーンの精子で満たされていた



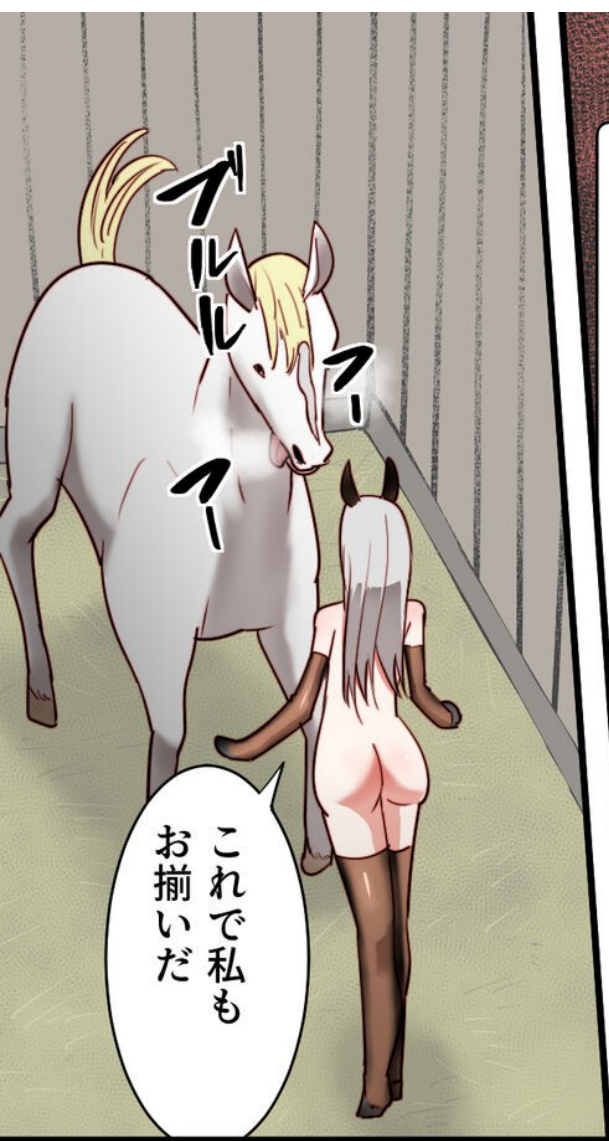
そして私はついに選択を迫られた

お尻はもう飽きた!? ま…前を使いたい!?

嫌ならもう「力」は貸さない…って…

私の出した答えは…





これで私も  
お揃いだ

誰からも尊敬され  
讃えられる騎士の地位…  
それは  
捨てられない…!

ほらランス  
お前のために  
こんな衣装揃えたんだ♥



私の体は頭の先から  
足の先までお前の物だ…  
だから  
私から力を奪わないでくれ…





ランス：  
ほ…ほんとにやるのか？

お前は気高き  
ユニコーンだろ  
人間の私と交尾して  
問題無いのか？

私はアナルも唇も  
そしてマンコも  
馬に奪われること  
なるのか？





ランス…

まるで  
「これでこの女は  
俺の物だ」  
と言わんばかりの  
顔だな…

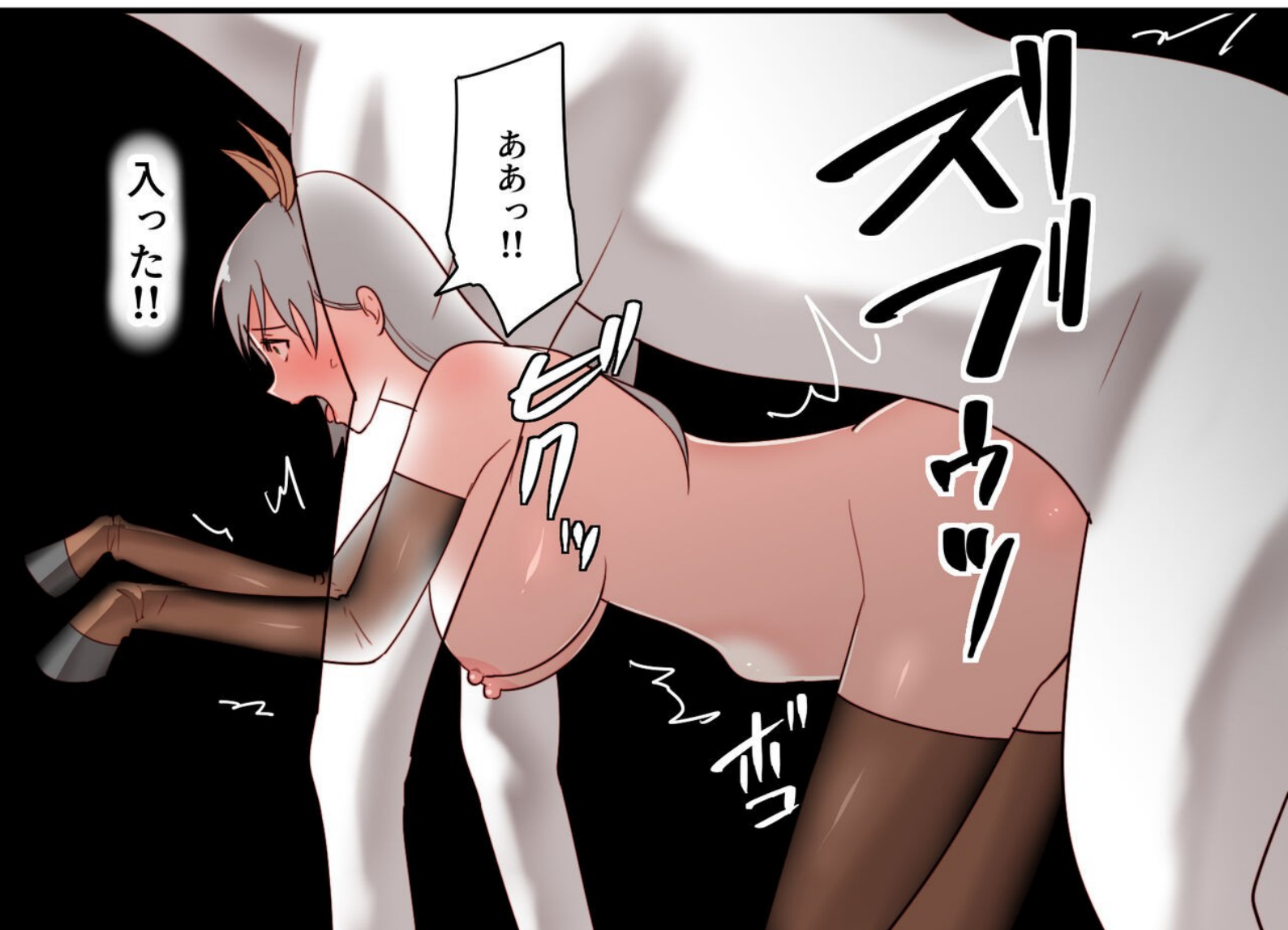


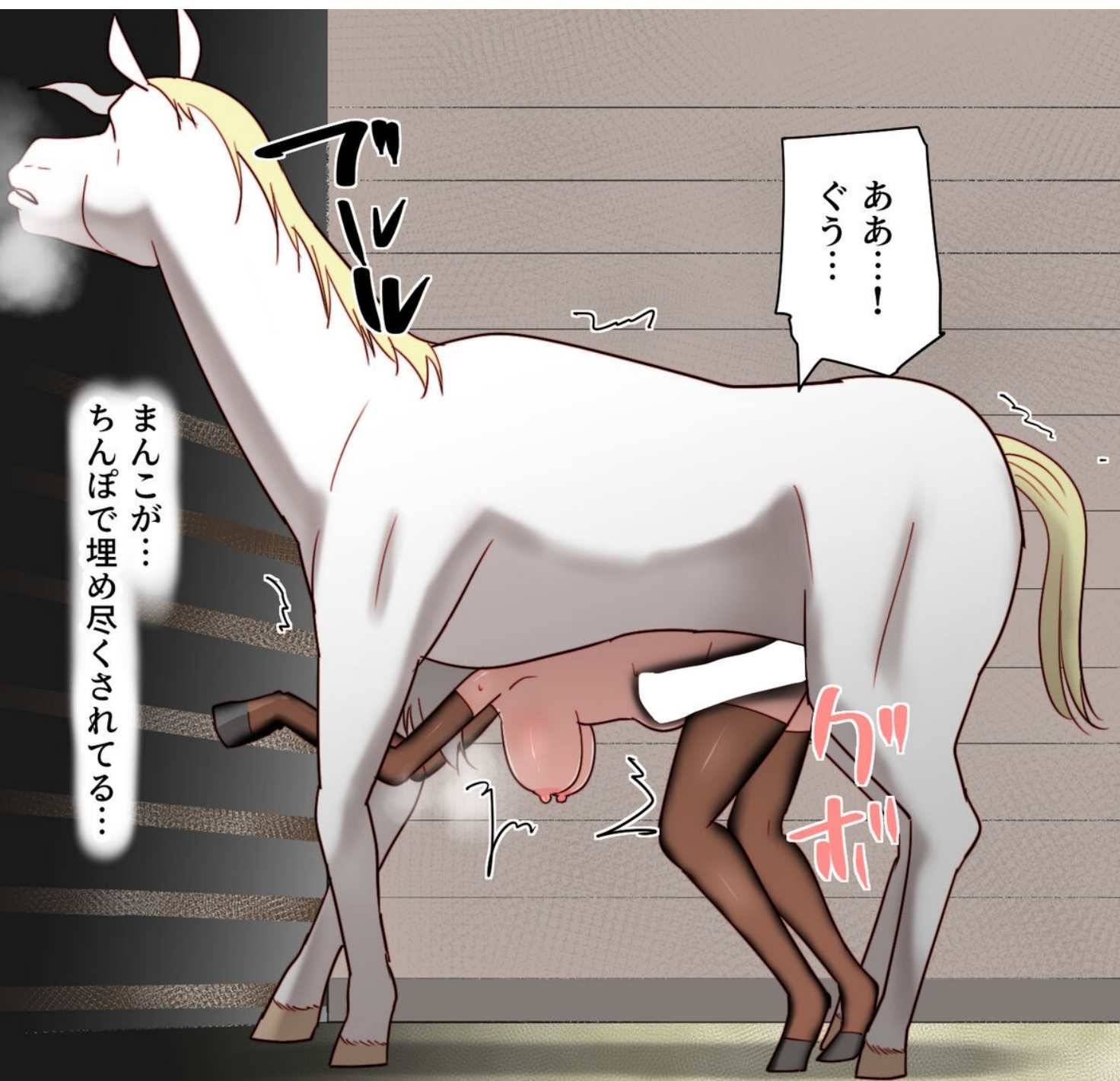
心は  
奪われてないからな…

ニク



いくら私の体を  
好きに出来ても…







ああっ…

ん…んん？

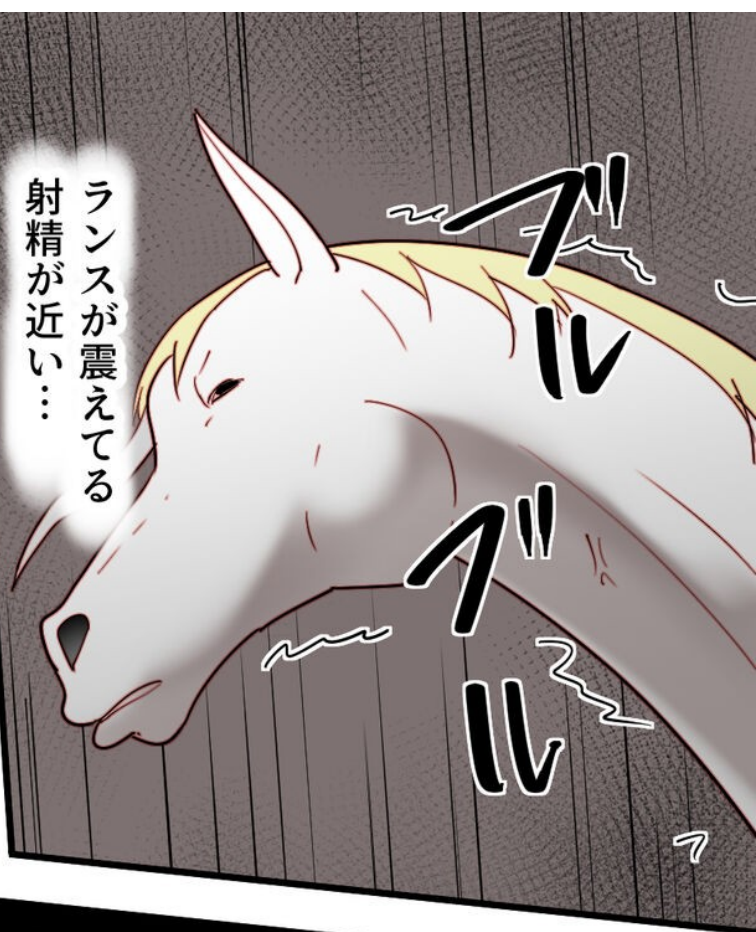
ホッホッ

あれ？  
なんだこれ

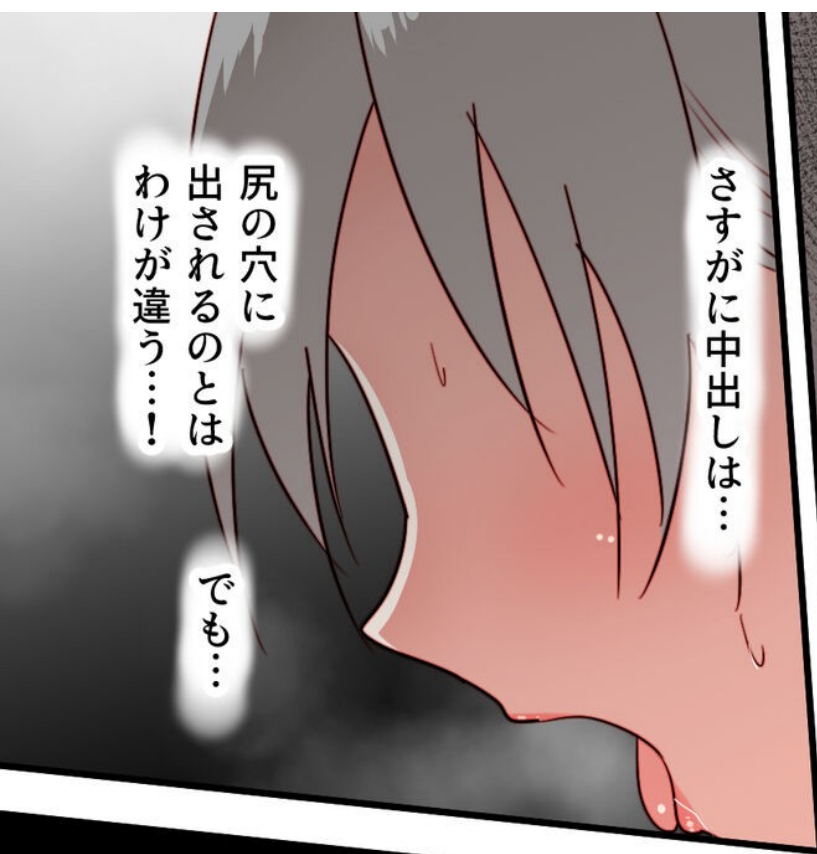
お尻が  
犯されてるときには  
無かった感覚が…







ランスが震えてる  
射精が近い…



さすがに中出しは…

尻の穴に  
出されるのとは  
わけが違う…!

でも…



馬の精子欲しい…  
体が求めてる…

何を考えてるんだ!  
私は人間だぞ!

私は気高き女騎士!

私は…

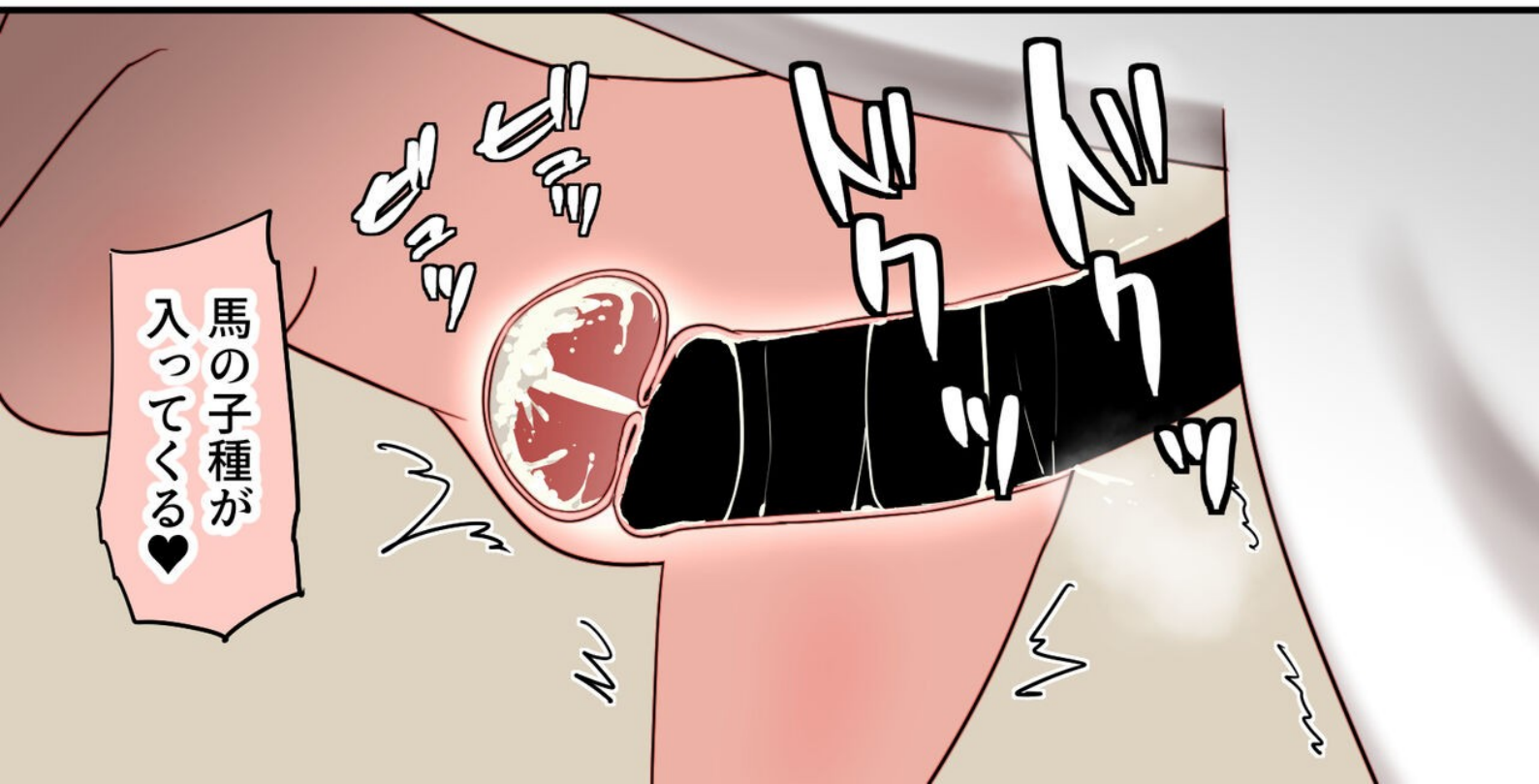
メス馬

んっ  
んっ



イクッ  
あああ  
あああああっ!!

ほーほー  
♥♥



馬の子種が  
入ってくる♥

あー！  
あ…  
ああ…

自分をメス馬と  
自覚した瞬間  
何かが私の中で  
弾けた…

ん  
ん

ん  
ん

ん  
ん

ん  
ん

ん  
ん

ん  
ん

きっと私はもう  
二度と  
人間に戻れない  
そして…

又ホ

新たな秘密を  
体に宿してしまった…

はあ  
はあ

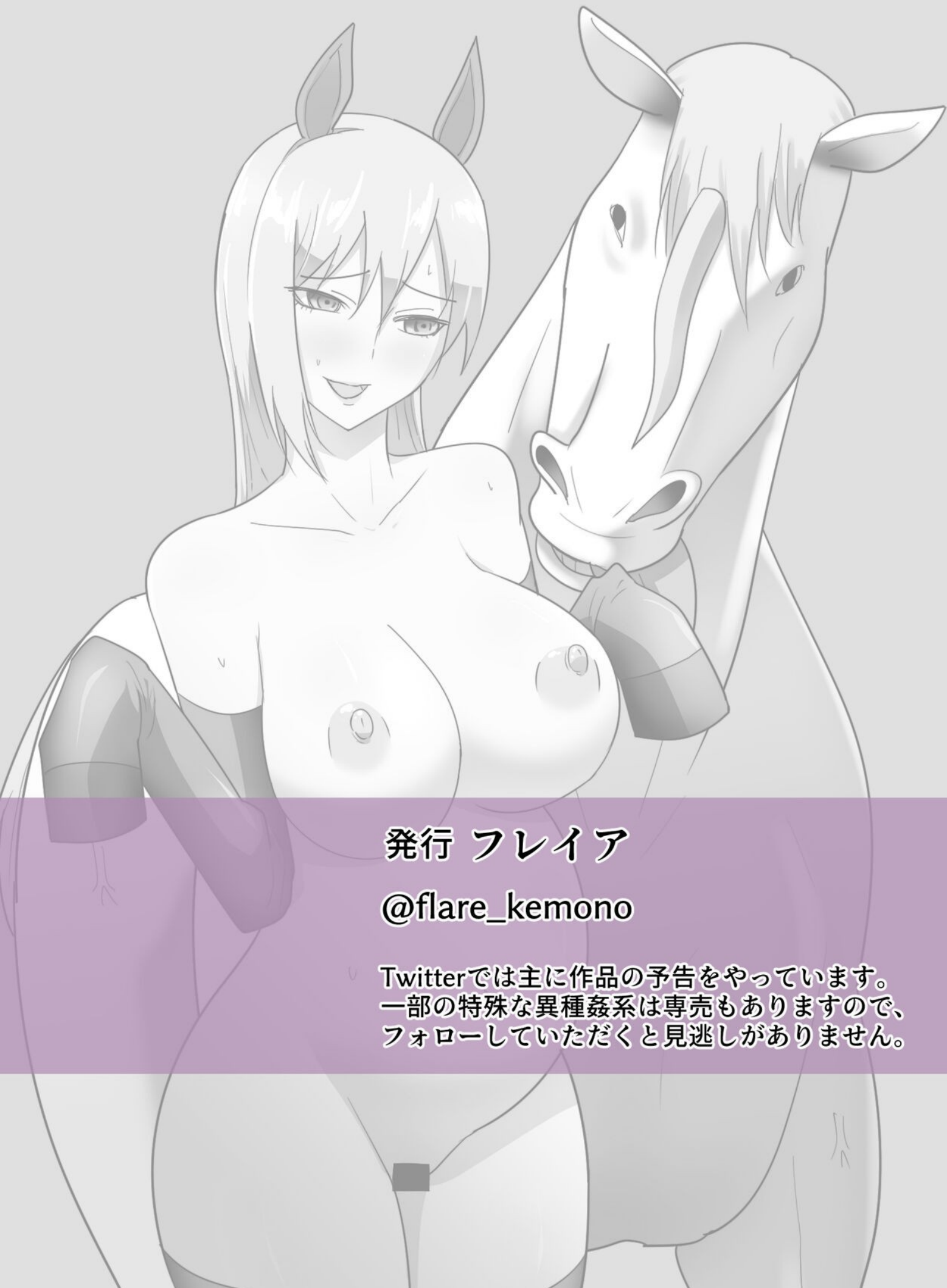
ムムム...

下淫

ムムム...

おわり





発行 フレイア

@flare\_kemono

Twitterでは主に作品の予告をやっています。  
一部の特殊な異種姦系は専売もありますので、  
フォローしていただくと見逃しがありません。